

聖書日課 『からし種』 2021.1.17-1.24

<p>1月17日 (日) 箴言 8章</p>	<p>「銀よりもむしろ、わたしの諭しを受け入れ、精選された金よりも、知識を受け入れよ。知恵は真珠にまさり、どのような財宝も比べることはできない」(10-11節)。神のもとにある深い知恵／真理が私たちを生かす。その深い知恵はイエス・キリストという方の人格にあらわされた。今朝、銀や金よりもまず第一に求めるべきものを主の日の礼拝でいただいでいこう。</p>
<p>18日 (月) 箴言 9章</p>	<p>「(愚かさという女は)意志の弱い者にはこう言う。『盗んだ水は甘く／隠れて食べるパンはうまいものだ』。そこに死霊がいることを知る者はない」(16-18節)。悪は人の心の隙間から忍び入り、甘美な言葉で心をくすぐり、道を踏みあやまらせていく。人の心はほんの小さな穴から崩れてしまう。自らの弱さを知る者として、今日、主の知恵の助けを祈り求めよう。</p>
<p>19日 (火) 箴言 10章</p>	<p>「憎しみはいさかいを引き起こす。愛はすべての罪を覆う」(12節)、「愚か者は悪だくみを楽しみ／英知ある人は知恵を楽しむ」(23節)。神のもとにある真の知恵が、私たちに喜びと楽しみ、そして平和をもたらす。その知恵は主イエスが身をもって示してくださった生き方にあらわされている。すべての罪を覆ってくださった主イエスの愛に心をしっかり向けて。</p>
<p>20日 (水) 箴言 11章</p>	<p>「偽りの天秤を主はいとい／十全なおもり石を喜ばれる」(1節)、「散らしてなお、加えられる人もあり／締めすぎて欠乏する者もある」(24節)。人間が考えることは昔も変わらない。三千年前にも「はかり」を誤魔化し、利をむさぼろうとする人がいた。他者にケチ臭い人は大切なものを失い、他者に惜しみない人は神の祝福をいただく。これは昔から変わらぬ真理。</p>

メール配信登録メール senfikorn.obc@gmail.com

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2021.1.17-1.24

<p>21日 (木)</p> <p>箴言 12章</p>	<p>「悪を耕す者の心には裏切りがある。平和を勧める人の心には喜びがある」(20節)。悪と平和が共存できないように、裏切りと喜びは共存できない。小さなウソ、誤魔化しが、裏切りにつながり、悲しみの叫びを生む。主イエスはそのつながりを断ち切れない人間の弱さを引き受けて十字架にかかれた。この主から平和につながる喜びをいただいきたい。</p>
<p>22日 (金)</p> <p>箴言 13章</p>	<p>「富んでいると見せて、無一物の者がいる。貧乏と見せて、大きな財産を持つ者がある」(7節)、「高慢にふるまえば争いになるばかりだ。勧めを受け入れる人は知恵を得る」(10節)。貧しく見えて豊かな生き方とはどういうものだろう。神の知恵と助け、人びとの厚意と協力を受けて、神の国の喜びを体験する生き方。神の国の希望に生きる信仰を祈り求めて。</p>
<p>23日 (土)</p> <p>箴言 14章</p>	<p>「人間の前途がまっすぐなようでも／果ては死への道となることがある」(12節)、「弱者を虐げる者は造り主をあざける。造り主を尊ぶ人は乏しい人を憐れむ」(31節)。ふと気づくと、造り主を軽んじ死への道を歩んでいる自分がある。自分を愛するように隣人を愛することは造り主を尊ぶ信仰に重なる。旧約から新約に時代が変わってもこの真理は変わらない。</p>
<p>24日 (日)</p> <p>箴言 15章</p>	<p>「目に光を与えるものは心をも喜ばせ／良い知らせは骨を潤す。命を与える懲らしめに聞き従う耳は／知恵ある人の中に宿る」(30～31節)。主の知恵は、旧約だけでなく、キリストを通してわたしたちにも伝えられている。「体のともし火は目である。目が澄んでいれば、あなたの全身が明るい」(マタイ6・22)のキリストの言葉にも繋がっている。</p>